

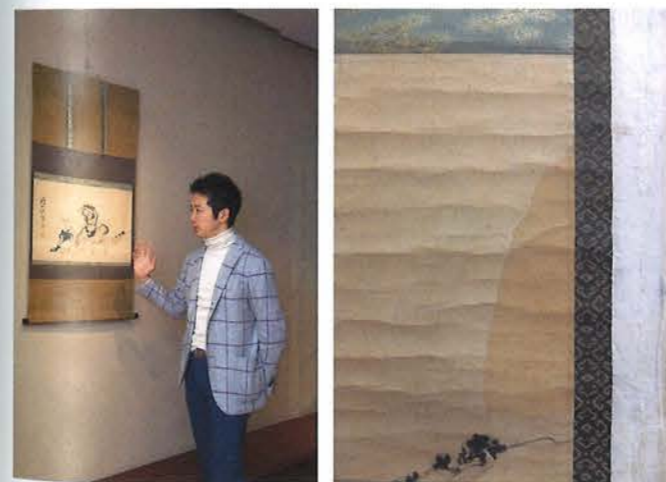
継活のススメ 3

加島美術が教える、所蔵品の「正しい残し方」

例1 | 巻きジワ除去、本紙手当



【上右】修復前の巻きジワが目立つ状態。【下右】特に、右側の色が変わっている部分は本紙が破れて紛失していたため手当。
【上左】巻きジワを除去し、汚れを落とすとご覧のとおり。本紙手当を施した部分も馴染んでいる。高井鴻山《妖怪》江戸時代(19世紀) 紙本着色 【下左】修復内容を解説する加島美術社長。撮影=広瀬達郎[本誌]



「継活」を提案する加島美術の連載もいよいよ最終回。1回目の「正しい理解、正しい業者の選び方」、2回目の「正しい処分、整理の方法」に続き、今回は「正しい残し方」をお伝えする。加島美術社長は、車と同じで美術品も定期的にメンテナンスが必要だと言う。「シミやカビ、巻きジワ、表具の損傷など経年劣化は避けられません。油彩画も亀裂が発生します。でも修復によって最悪の事態を避けることはできません。見た目だけでなく、資産価値を下げないためにもメンテナンスは重要です。修復の目安は5年ごと。お子様に引き継ごうとお考えになった時などを

機に、作品のコンディションをご確認されることをお勧めします」
この見開きに掲げた例からも、修復によって作品が生き返るのは一目瞭然だろう。
「北斎の門人であった高井鴻山(例1)は、描かれて以来ほぼメンテナンスされてこなかった割に、シミやカビがあまりなかったのが幸いでした。ただ右端の本紙が欠損していたため紙質が近い紙をあてがい、さらに巻きジワ、画面と表具の汚れを除去しました。錦木清方の《春野》(例2)は表具を替えました。もとは緞子裂を使っていたのですが、より高価な金糸を使った布を使用。野間仁根作品(例3)は額装もされずにしまいこまれていました。作品に見合った表具や額にすることで、長く鑑賞できるよう整えることも大切です。そもそも軸物は修復を前提にした構造で、バラバラに分解できるように考えられているんです。現代は床の間のある家が減っていますし、マンション暮らしの方も多いため、ライフスタイルに合わせて軸装から額装に変えるのもひとつの残し方です。また額にもブームがありますから、もともと額装の作品でも時流に合う額に変えるだけで新鮮さを味わうことができます。気に入った額であれば、額をメンテナンスするのも手です」

例2 | 表具替え



緞子の表具【右】から金糸を使った表具に変更【左】。上品さが際立ち、絵の印象もガラリと変わる。シミ抜きも施した。錦木清方《春野》1902年 絹本着色 本紙82×55cm、全体186×70cm 東美鑑定証書つき 毎日新聞社「画集 錦木清方」所載

では修復に出すにあたり、どんな点に気を付けたら良いのだろう。
「第1回でご説明したとおり、正しい業者を選ばないと修復でも痛い目に遭う場合があります。たとえば江戸時代の作品なのに現代の布で表具替えされてしまうと、時代の齟齬により資産価値が落ちてしまう。最悪なのはシミ抜きに失敗するケースです。シミ抜きには高度な技術が求められます。生半かな知識で修復され、薬品シミが発生したら手の施しようがありません。補彩、本紙手当、表具の修繕や変更など、修復にもそれぞれに専門知識が必要です。私どもは年間1000件ほどの修復に携わっていますが、そういった美術商はコンディションを見てどの修復家に依頼すべきか判断できます。高価な作品ほど資産価値が目減りが激しいので、依頼先には注意していただきたいです」

良好な状態を維持するため保存は50〜60パーセントの湿度を保つのが理想的で、時に虫干しもすべきだが、あまり過敏になるのは良くないとも。
「劣化が生じて、早い段階であればメンテナンスである程度は回復できると思っただけに楽しんでください。怖がらずに触って、愛でる。美術品に心を寄せてあげると、ふとした時に「あれ、汚れが目立ってきたな」などと感じ取ることがありますから、早期解決にも結びつきます」

例3 | 額装する



長らくしまっばなしだった作品を、楽しく鑑賞できるよう額装。野間仁根《月とキツネとタヌキ》1948年 油彩、カンヴァス カンヴァス0号(13×18cm)、全体26×32cm

INFORMATION

加島美術

住所 ■ 東京都中央区京橋3-3-2
電話番号 ■ 03-3276-0700
開廊時間 ■ 10:00~18:00
休廊日 ■ 日曜、祝日
アクセス ■ 東京メトロ銀座線「京橋」駅より徒歩1分、東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅より徒歩2分、都営浅草線「宝町」駅より徒歩5分、JR「東京」駅八重洲南口より徒歩6分
URL ■ www.kashima-arts.co.jp

美術品の無料査定・鑑定会

継活 in 山形

2017年3月5日(日)、6日(月)

山形テルサ3階交流室A
10:00~17:00

所蔵している美術品の資産価値を知りたい、相続した美術品を整理したい、引越を機に美術品を売却したい、劣化してきた美術品を修復したい、などの相談に応じてもらえる。査定・鑑定は予約優先。

